

ありのままではたらくる会社ができただ理由

弱い私たちが、つながりあい、まざりあい、かかわりあう
安心して産まれて生きて死ぬことができるコミュニティになるモノガタリ

私が住む 山里 豊田市旭地区

豊田市旧東加茂郡旭町

人口2411人（令和4年10月1日）

高齢化率47.24%

* 市内で最も高齢化率の高い地域自治区



プロフィール

氏名 戸田 友介（トダ ユウスケ）

居住地 愛知県豊田市旭地区（旧東加茂郡旭町）

2010年10月に移住

年齢 41歳

家族 妻、長男12歳、長女9歳、次男8歳、次女4歳

座右の銘 天命に安んじて人事を尽くす

note更新中 https://note.com/yusuke_toda



株式会社M-easyは、2003年4月に名古屋大学の学生で立ち上げたベンチャー企業からはじまり、おかげ様で20周年になりました。

地域で暮らす、はたらく、くらしごと

ひとまず以下の3つをM-easyグループとします

株式会社M-easy 代表取締役（人材創造拠点つくラッセル運営）

株式会社あんじゃない 代表取締役（地域密着型デイサービスあんじゃない運営）

小渡・小原販売店 戸田新聞店 代表

それ以外にも関連企業・団体もあり、さまざまな関わりがあります

一般社団法人おいでん・さんそん 代表理事（おいでん・さんそんセンター運営）

一般社団法人里モビニティ 代表理事

株式会社きく結び 取締役顧問（訪問看護ステーションかえるの家運営）

NPO法人みち 理事（デイサービス型地域活動支援センターあぜみち運営）

旭木の駅プロジェクト実行委員会 事務局

他にも、こんな役目を担ったり所属しています

夫、父親、築羽自治区広報部長、耕Lifeアドバイザー、豊田市生涯学習審議委員、豊田市市民活動促進委員、旭・小原商工会員、豊田市消防団第九方面隊第四分団部長、伯母沢流笛太鼓保存会、旭しょうゆづくり会、山里ひとなる塾塾長、山里合唱団「こだま」団長、あさひ民謡パラダイスなど



2009年から2011年の「日本再発進！若者よ田舎をめざそうプロジェクト」からはじまった旭地区での暮らし。2008年のリーマンショック、2011年の東日本大震災、2020年の新型コロナウイルスと、大きく価値観がゆさぶられる時代に、私たちに自らの人生を自らハンドリングするという場を与えてくれました。「いるだけでいい」という安心の場が私たちの生きる力の源泉であることを学んできました。委ねること、つながることが心と体を元気にしていくことを学んできました。時間が私たちが癒してくれることを学んできました。自然環境や社会環境にあわせて紡いでいく経営の大切さを学んできました。現代社会の分断による生きにくさの中で、「ひととひと」「ひとと自然」が、どうつながりあって暮らしを未来へつなげていくことができるのか。人が育っていくこと、老いていくこと、山の木々や、川の流れと、生き物たちとの営みかたに、どう向き合っていくのか。経営も自然の一部として、どう生態系をつくっていくのか、2021年度も一歩ずつ歩みを進めていきたいと思えます。

2021年5月29日

代表取締役 戸田友介

● 会社概要

| | | |
|------|--------------------|----------------------------|
| 会社名 | 株式会社M-easy | |
| 所在地 | 愛知県豊田市太田町蟹田6番地(本店) | 豊田市旭八幡町堂山432番地3(つくラッセル事務所) |
| TEL | 0565-77-2722 | |
| FAX | 050-3488-9128 | |
| 設立 | 2003年4月22日 | |
| 資本金 | 1000万円 | |
| 代表者 | 戸田友介 | |
| 従業員数 | 18人(パート・アルバイト含む) | |

● 事業内容

いつまでも暮らし続けられる地域をめざし、地域課題にむきあい、地域住民、行政、大学、企業と連携を重ねてきました。地域の遊休資源を再活用し、つながりから価値創造を行っていきます。

- ・人材創造拠点つくラッセル 運営
- ・地域産の木材を活用した新生産販売
- ・地域密着型デイサービスあんじゃない運営 (関連会社株式会社あんじゃない)
- ・自立移動支援里モビニティの拠点運営 (一般社団法人里モビニティ)
- ・種まきから味噌づくり豆っこくらぶ
- ・農山村体験の企画運営
- ・地域の魅力再発見ツアー
- ・新聞店 運営
- ・ミライの職業訓練校 運営
- ・その他、企業、大学、地域と連携企画 運営

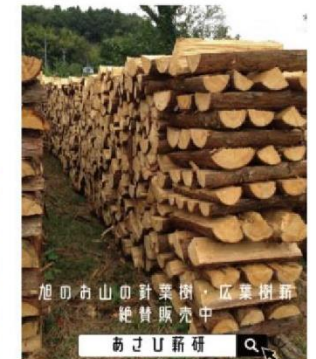
つくラッセル
TSUKU-RASSERU
起点をつくりだす
みんなのやりたいを叶える
つどう、はたらく、つくる拠点



里モビニティ
いつまでも安全に
自分で移動ができる
地域をつくる



地域につながる顔なじみ
地域密着型通所介護
小規模デイサービス
あんじゃない



居心地よく、機嫌よく、生きて死んでいきたい

そう思っていたら、
さまざまな営みが生態系のように広がっていきました。





北三河
芸祭

STAFF

中級指名手配

| | | | | |
|-------|-------|-------|------|---|
| 佐藤 真一 | 村上 大 | 李 命 | 吉原 | |
| 藤野 洋 | 上田 雄司 | 文部 健勇 | 橋 健輝 | 大 |











地域密着型通所介護
小規模デイサービス
あんじゃない



夫婦仲良く!

ちよい乗りで便利だけではなかった
笑顔が出る、人と人との交流が生まれる



旭木の駅プロジェクトで集まった材を活用し、薪割りと薪ストーブ販売店DLDさんへの薪配達サービスを行っています。また「焚火の薪」や「暖房の薪」として小売り販売をしています。



間伐材木工研究会 図工室

自らも間伐ボランティアとして活動。間伐した材を伐り置きするのではなく、先人が植えた木を大切に使い、木の持ち味を生かした製品作りを目指し活動しています。

木kansha (同) 木かんしゃ

「薪ストーブ、うちにもつけれるか?」今まで設置できなかったご家庭でも、導入しやすいモノを提供しています! 地域の森林資源の有効活用を目指しています。



コレカラフーズ

つくラッセル3階



知り合いなど繋がりのある方がつくられている素材を活かし、そのままの味を伝えるアイスをつくっています。



モビニティ (一社)里モビニティ

いつまでも安全に自分で移動できる地域づくりを目的に、里モビニティの開発リリース、コミュニティ活動をしています。

竹々木々工房 調理室

里山にある資源を活用し、永続的な里山整備に繋がる活動をしています。現在は竹害に目を向け、国産メンマづくりに取り組んでいます。



アサノアサノエンタープライズ (同) アサノエンタープライズ

イベント音響の事業を中心に、事業展開しています。挑戦と失敗を繰り返しながら、少しずつ成長しつつあります。これからもずっと、旭の一企業として、地域の中で事業をつづけていきたいです!



地域密着型デザイナーサービスあんじゃない

空き家活用

地域のなかでみんなが機嫌よく年を重ねている時間を丁寧につむいでいきます。



コワーキングスペース利用者 (株)コングレ 柳澤二郎

つくラッセル2階



政府代表の国際会議、イベント運営など名古屋市内にある会社に勤務。テレワークの場として活用しています。

つながりあい、まがりあい、かかわりあう場



(株)M-easy・戸田新聞店

つくラッセル1階
新聞店運営、カフェ、経理、総務、つくラッセル内外で多岐にわたる業務を担っています。

高橋商店 サテライト倉庫

捨てられる運命の鉄、木材製品を中心に古民家等からレスキューした飾りや工作に使えるものを販売しています。



Man to Man(株)サテライトオフィス

つくラッセル2階

子どもが学校に行っている時間帯に近所で働いたら...そんな「隙間時間仕事」を増やすきっかけになればと名古屋に本社がある人材派遣会社がサテライトオフィスを開設。テレワークで仕事を行っています。



ミライの職業訓練校 地域スモールビジネス研究会

モヤモヤを大切にお互いに知り合うことから始まる小さな共有の場をつむいでいます。by 一般社団法人おいでん・さんそん



旭を盛り上げたい学生団体「あさぶろ」

「街と地方が繋がりが、生まれる笑顔。その感動を伝えたい。」を理念に、旭の魅力を発信しています。

豆っこくらぶ

豆まきから味噌づくりまで1年を通して活動します。



フリースペースみけねこ

大人も子どももいっしょに、のびのび 過ごせる第3の居場所を作っています。



Toolメンテ

工具器具メンテナンスを行っています。隙間時間を組み合わせながら、各々のペースで仕事をしています。



マレットゴルフ愛好会

運動場

「小学校が廃校になり、このまま誰も来れない場所にはいけない。」その思いからつくラッセルができる5年前にマレットゴルフ愛好会を設立しました。定期的に大会が行われています。



KOZOカンパニー

豊かな山林を守り循環させるため、地域の間伐材を有効活用させていくと願っています。木製雑貨、看板などを制作しています。国産の木の温もりを暮らしの中に。



三味線・民謡旭

芳泉先生と築羽自治区のお祭りでの出会いをきっかけに、定期的につくラッセルで三味線と民謡を教わっています。

PDS

バシフィックドローンスクール

100回回いても優しく教えるドローンスクール。ワンコイン500円で体験教室も行っていきます。わざわざ遠方から習いに来る方も!



(株)peakoo

ネットショッピングモールにて店舗運営を行っています。これから、旭地区で倉庫事業をはじめます。

山里合唱団こだまデュオルリアンのお二人指導のもと、楽しく合唱しています。

Duo le lien(デュオルリアン)

音大卒の本格派ユニット。子供向けからクラシックまで幅広く演奏しています。仕事の合間に練習しています。



訪問看護ステーションかえるの家

つくラッセル3階



田舎に医療を身近に感じて頂きたい思いで訪問看護ステーションを設立しました。地域の皆様が安心してご自宅で過ごすことができるよう頑張っていきます。



麻布大学名誉教授 農学博士 太田光明

つくラッセル3階

40年間の大学教員生活を終え、帰郷。「認知症」予防の研究継続のため(株)高齢科学未来研究センターを設立しました。



高齢科学未来研究所

M-easyグループの機能と経営

スタッフ60人

<経営理念>

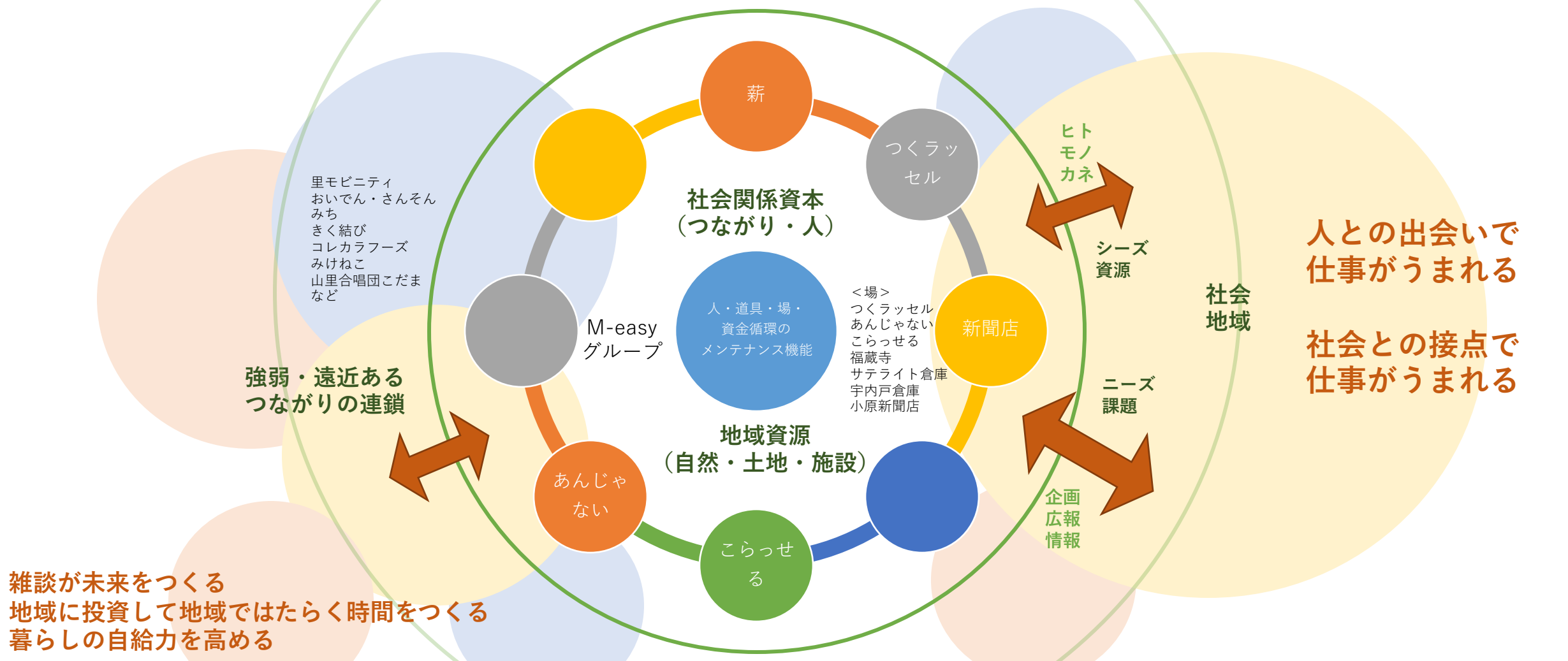
弱い私たちが、つながりあい、まざりあい、まなびあい、かかわりあう
安心して生まれて生きて死ぬことができるコミュニティになる


<経営方針>

社会関係資本（つながり・人）と、地域資源（自然・土地・施設）の価値循環を創造する

<機能>

ひとりひとりが励まし合い、支え合う関係性を育み続けられるように、人・道具・場・資金循環のメンテナンス機能を実装する





過疎対策プロジェクト始動

地域で学んだありかた

旭地区に移住するきっかけとなった過疎対策プロジェクト始動

日本再発進！

若者よ田舎をめざそうプロジェクト

2009年9月から2012年3月の間、都市部から募集した10名の若者が、地域の空き家、耕作放棄地を借り、農業をなりわいとした持続可能な農山村の暮らしを実践するとともに、農村コーディネータとして、人々の生活を守り、豊かな自然環境、豊かな人間関係、豊かな生活を実現するための先駆けを目指すことを目的とした事業でした。





緊急雇用対策事業として

稼ぐ農業の志向

しみる山里のホスピタリティと、期待と苛立ちと焦り

チームの崩壊

関係性の再構築

「あんたらいてくれるだけで、うれしい」

みんなで生き残っていくにはどうすればいいだろうか

暮らしをつくるはたらきかたへ

事業からでなくひとりひとりから発想する

覚悟を決めると、関係性がかわる





プロジェクト終了後

事業収入がなくなる。→ 余剰金は給料として支払い。



お金があることでできることはある一方で、お金あることでできないことがある。

お金に人生をあずける生きかたに不安定さを感じていたことに気づく。
本当に安心して安定した生きかたは、自分事で生きれること。

地域の命運と自分の人生を重ねて生きるということが心地よい。

地元になくてもならない存在になれた時、稼ぎはついてくる



さまざまな事業を創造しはじめる。

旭には大切にしたい 当たり前の文化があった



人口減少、少子高齢化、空き家、耕作放棄地、放置林、はたらく場所、買い物弱者、介護や看取りなど、モヤモヤする課題はたくさんあるけれども、

「お互いをよく知り、かかわり、一緒に体をうごかす、おせっかいをし、あんじゃないと励ましあう」

という関わりを創り続けることで仮説が転がりだす。



廃校を活用したひとからはじまる場所づくり

つくラッセル

2018年4月オープン

老若男女、移住者も、地域の人もゆるやかにつながりながら、つどい、はたらき、つくる場にしたい





どんなな施設か

より

誰とするか



築羽小学校閉校式

2012年3月

つくばマレットゴルフ場



ふるさとテレワークを活かした地域スモールビジネスによる人材創造拠点整備事業

サテライトオフィス、コワーキングオフィスに、企業・大学を誘致。企業、大学、行政、地域がともにはたらき、持続的に成長発展できる地域スモールビジネスが沸き上がる人材創造拠点となる。



旧築羽小学校
廃校になった小学校を活用

企業・人材を誘致する仕組み

- ◆「企業と農山村をむすぶコーディネート業務」
企業と農山村をむすびつけるコーディネート組織とともに新たな企業・人材を誘致する情報発信、営業、PRイベント（とよたの山里マッチングツアー）を実施
連携：豊田市、おいでんさんそんセンター（一般社団法人おいでん・さんそん）、株式会社ピー・エス・サポート

整備・運用

新事業が沸き上がる仕組み

- ◆「ICTを活用した地域支え合いの仕組み構築による新事業の創出」
高齢社会の課題先進地である中山間地でICTを活用した地域支え合いの仕組みづくりに取り組む大学と連携した新事業の創出（名古屋大学未来社会創造機構）
- ◆「地域スモールビジネスによる新事業創出」
地域社会起業家の集いをベースに、大学、地域、行政、企業が交流し、新事業が沸き上がる場づくりを行う（地域スモールビジネス研究会に所属する起業家・個人、株式会社M-easy）



移住定住を受け入れる仕組み

- ◆「空き家バンク制度」
移住者の住まいをサポートする
連携：豊田市、おいでん・さんそんセンター（一般社団法人おいでん・さんそん）、築羽自治区
- ◆「いなか暮らし総合窓口」
移住者に寄り添い、暮らし・仕事・住まいなどの相談を受ける
連携：おいでんさんそんセンター（一般社団法人おいでん・さんそん）

めざす展開

- 1. 生活者目線の人材育成の場**
地域に住むひとりひとりが、関係する企業、大学、行政にぞくするひとりひとりが、相互に交流し、自分自身と地域に向き合う中で、主体的で創造的な暮らしかた、はたらきかたを発見できる場になること。
- 2. 相互関係による新しい事業の創出**
地域、企業、大学、行政の立場をのりこえて、交わり合いながら、社会課題に取り組む新しい事業がうみだされる場になること。
- 3. 持続可能な高齢社会のありかたの提案**
高齢者、若者、子どもたちと相互の交流の中で、死ぬまで元気で活躍できるありかたを提示することで、安心して年を重ねられる暮らしかたはたらきかたを提案すること。
- 4. 暮らしの中ではたらくを両立した次世代育成の日常空間の創出**
テレワークを最大限活用し、農山村での暮らしとはたらくことを両立できる人材の活躍を次世代の子どもたちが間近にふれることができる日常空間を創出すること。
- 5. クラウドソーシング拠点**
都市部の仕事を受注し、農山村の暮らしと両立しながらし続けることができる仕組みを構築し、新しい農山村での新しいはたらきかたのモデルとなること。













つくばレクバレーボールクラブ



コワーキングスペース





Man to Man株式会社 テレワーク

休憩室



山里手習い塾





竹々木々工房





旭木の駅プロジェクトで集まった材を活用し、薪割りと薪ストーブ販売店DLDさんへの薪配達サービスを行っています。また「焚火の薪」や「暖房の薪」として小売り販売をしています。



間伐材木工研究会 図工室

自らも間伐ボランティアとして活動。間伐した材を伐り置きするのではなく、先人が植えた木を大切に使い、木の持ち味を生かした製品作りを目指し活動しています。

木kansha (同) 木かんしゃ

「薪ストーブ、うちにもつけれるかも」今まで設置できなかったご家庭でも、導入しやすいモノを提供しています！地域の森林資源の有効活用を目指しています。



コレカラフーズ

つくラッセル3階

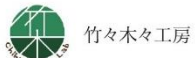


知り合いなど繋がりのある方がつくられている素材を活かし、そのままの味を伝えるアイスをつくっています。



モビニティ (一社)里モビニティ

いつまでも安全に自分で移動できる地域づくりを目的に里モビニティの開発リリース、コミュニティ活動をしています。



竹々木々工房 調理室

里山にある資源を活用し、永続的な里山整備に繋がる活動をしています。現在は竹害に目を向け、国産メンマづくりに取り組んでいます。



(株)M-easy・戸田新聞店 つくラッセル1階

新聞店運営、カフェ、経理、総務、つくラッセル内外で多岐にわたる業務を担っています。

高橋商店 サテライト倉庫

捨てられる運命の鉄、木材製品を中心に古民家等からレスキューした飾りや工作に使えるものを販売しています。



つながりあい、まがりあい、かかわりあう場



地域密着型デザイナーサービスあんじゃない

空き家活用

地域のなかでみんなが機嫌よく年を重ねている時間を丁寧につむいでいきます。



コワーキングスペース利用者 (株)コングレ 柳澤二郎

つくラッセル2階



政府代表の国際会議、イベント運営など名古屋市内にある会社に勤務。テレワークの場として活用しています。



Man to Man(株)サテライトオフィス つくラッセル2階

子どもが学校に行っている時間帯に近所で働いたら…そんな「隙間時間仕事」を増やすきっかけになればと名古屋に本社がある人材派遣会社がサテライトオフィスを開設。テレワークで仕事を行っています。



ミライの職業訓練校 地域スモールビジネス研究会

モヤモヤを大切にお互いに知り合うことから はじまる小さな共有の場をつむいでいます。by 一般社団法人おいでん・さんそん



旭を盛り上げたい学生団体「あさぶろ」

「街と地方が繋がりが、生まれる笑顔。その感動を伝えたい。」を理念に、旭の魅力を発信しています。

豆っこくらぶ

豆まきから味噌づくりまで1年を通して活動します。



フリースペースみけねこ つくラッセル2階

大人も子どももいっしょに、のびのび 過ごせる第3の居場所を作っています。



Toolメンテ

工具器具メンテナンスを行っています。隙間時間を組み合わせながら、各々のペースで仕事をしています。



KOZO カンパニー

豊かな山林を守り循環させるため、地域の間伐材を有効活用させていくと願っています。木製雑貨、看板などを制作しています。国産の木の温もりを暮らしの中に。



PDS

バシフィック ドローンスクール

100回回いても優しく教えるドローンスクール。ワンコイン500円で体験教室も行っていきます。わざわざ遠方から習いに来る方も！



(株)peakoo

ネットショッピングモールにて店舗運営を行っています。これから、旭地区で倉庫事業をはじめます。

山里合唱団こだま デュオルリアンのお二人指導のもと、楽しく合唱しています。

Duo le lien(デュオルリアン)

音大卒の本格派ユニット。子供向けからクラシックまで幅広く演奏しています。仕事の合間に練習しています。



マレットゴルフ愛好会 運動場

「小学校が廃校になり、このまま誰も来ない場所にはいけない。」その思いからつくラッセルができる5年前にマレットゴルフ愛好会を設立しました。定期的に大会が行われています。

三味線・民謡 巴拉ダイス旭

高齢科学未来研究所

訪問看護ステーションかえるの家 つくラッセル3階

田舎に医療を身近に感じて頂きたい思いで訪問看護ステーションを設立しました。地域の皆様が安心してご自宅で過ごすことができるよう頑張っていきます。



麻布大学名誉教授 農学博士 太田光明

つくラッセル3階

40年間の大学教員生活を終え、帰郷。「認知症」予防の研究継続のため(株)高齢科学未来研究センターを設立しました。





『つくラッセル』は、「あのじいちゃんは、ようつくらっせるなあ」と、旭の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のおり「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色んな想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々是好日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。

旭を盛り上げたい学生団体、『あさぶろ』を始動

上田光太郎さん (21)
名古屋市立大学 人文社会学
心理教育学科 (休学中)

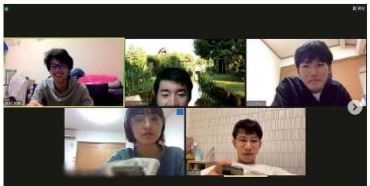


あさぶろの代表。松栄軒の製造責任者の孫。コロナ禍で休校になったり、オンライン授業になったりで、このまま就活して社会に出るのはもたない、学生の内にできることを思いっきりやりたいと休学を決意。

上田さんの好きな言葉

助けてもらわないと生きていけない
自信がある!!!!

あさぶろメンバー紹介!



週1回、ミーティングをしています!

コロナ禍で1年間無駄にした感じがありました。このまま就活をして社会に出るのはもったいないと。高校3年にバスケットボールで県大会に出場したり、学園祭でライブの司会、受験勉強など、何事にも一生懸命取り組んでいた過去の自分に顔向けができないと思ったからです。いろいろな話を聞いてみよう!何かやろう!そんな時に、松栄軒のオンラインショップ開設の手伝いの話をもらい、やってみることにしました。

漫画 ONEPIECE のルフィが好きで、この言葉は自分と重なります。正直何もできない自分だけれど、これをやりたいから助けて、一緒にやろうって言う役割もあるんだと感じたからです。この「あさぶろ」の活動も自分の呼びかけで始まりました。

見崎悠さん (みさき) …あさぶろ副代表
名古屋市立大学 人文社会学 現代社会学部 三年

近藤菜さん (こけるん) …あさぶろ広報担当
中京大学 総合政策学部 三年

芦沢翔貴さん (コッシー) …あさぶろデータ分析担当
中京大学 経営学部 三年

松井優さん (ゆうくん) …あさぶろご意見番
京都大学 法学部 三年
旭出身! 京都に住みながら、皆のサポートをしている。

これからやりたいこと①

うえ
よるず屋上ちゃん。



応援よろしく
お願いします!

里モビに乗って、地域をめぐり、困り事を解決できるようになればと思っています。まずは、つくラッセルで田舎仕事を学んでいます!

これからやりたいこと②



Instagram 「あさぶろ」



あさひ照ラスに出店。



旭高原のイベントにスタッフとして参加。

情報発信するためにInstagramを始めました。旭で行われるイベントに実際出店してみたり、働いてみたりしながら旭の魅力を発信していきます。旭を好きになってもらって、関係人口を増やしたいと思っています。若者は学校での座学をアウトプットする場が少ないとされていて、この活動を通して若者の学びを活かす場になればと思っています。

笑劇派 × 旭地区コラボ LIVE 開催決定!

笑劇波の舞台がつくラッセルにやってきます!なんと今回は旭スペシャルバージョン。笑劇波の役者のみならず、皆さんが知っている旭の仲間もたくさん出演します。旭の名物や名産、旭のキャラクター、旭あるあるなどが盛り込まれた台本を1から制作しました。ご期待ください★

【日付】7月24日(土)

【場所】つくラッセル 体育館

【定員】各回 60名

【入場料】

前売券: 大人2000円・小中学生500円

当日券: 大人2200円・小中学生700円

【講演時間】

昼間の部: 午後1時30分~

夜間の部: 午後6時~

※上演は約60分を予定しています。



チケット購入方法 ▶▶▶つくラッセルにてお問い合わせください。

つくラッセル Jazz Day



5月30日(日)に体育館にて East Village J.O. (イーストビレッジ・ジャズオーケストラ) の皆さんによる Jazz コンサートが行われました。



ひと時の大迫力のパフォーマンスを皆さん楽しんでいらっしゃいました。

旭製材の鈴木禎一さんも所属されています。

お問い合わせ先

つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町堂山 432 番地 3

TEL 0565-77-2722 (代表) 0565-77-7648 (戸田新聞店)

FAX 050-3488-9128 info@tukurassell.life

ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。

OPEN

オフィス 平日 9:00 ~ 17:00

カフェ 平日 9:30 ~ 16:00

つくラッセル NEWS 発行責任者 つくラッセル推進コンソーシアム代表 戸田友夫

あさぶろ 上田光太郎さん

大学生連携 起業支援 関係人口創出



『つくラッセル』は、「あのじいちゃん、ようつくらせるなあ」と、旭の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色々な想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々は好日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。

就労継続支援B型「よりみち」4月開所予定 ～木の駅プロジェクトの材を活用し、リフォーム!～

愛知県豊田市の足助地区で、デイサービス型地域活動支援センター「畦道(あぜみち)」をご存じでしょうか。2017年5月から障がい(主に精神障がい)のある方が家から一歩を踏み出し活動する場として開所してきました。2022年4月より、足助地区北小田町に移転し、より多くの方に寄りそっていただける場として新たに中山間地域で初の就労継続支援B型事業所「よりみち」を開所されます。
(株)M-easyでは昨年8月から木の駅プロジェクトの材を活用した改修をつくらッセルスタッフと地元事業所で共に行ってきました。「よりみち」を運営されるNPO法人みち 代表の今枝美恵子さんにお話を伺いました。



地域で暮らす障がいのある方が、住み慣れた地域で通える居場所、働きたいと望む方を支援できる場所をつくりたい。

精神疾患や障がいで悩んでいるご本人さん、ご家族の方などお気軽にお問い合わせください。



今枝 美恵子 (39)
南知多町豊浜出身
精神支援歴 15年

ご主人と娘さんの3人家族

この道に進んだきっかけ。

おばあちゃんの介護でヘルパーの仕事を知り、福祉の道へ。進路を迷っていた際に、何十年も精神科に入院されていた患者さんの言葉に救われ、精神支援の道に進むことを決める。行く方向を決めてくれた恩返しをしていきたい。

「ご縁をいただき、新盛自治区で新たに就労継続支援B型事業所を開所することになりました。周辺住民の方に挨拶した際、『早くおいで!』と、とても歓迎していただきました。空き家に人が入ることのできる防犯になるし、市外に住んでいる子世代からは、親の安否確認をしてくれると有難いとの声をいただいています。3月下旬には内覧会を数日行う予定です。周辺地域の方、福祉関係の方にお越しいただければと思います。」

経験者のパートさん募集しています!

「今までより部屋が広くなり、人手も必要です。週2～4日で働けるパートさんを募集しています。できれば精神保健福祉士さんや精神保健福祉分野経験者の方を募集しています。お気軽にお問い合わせください。」

拠点となる古民家改築費の寄付を募っています。

「病気や障がいのある方が住み慣れた地域で暮らし、働く練習をする場所づくりにご支援・ご協力ください。よろしくをお願いします。」

詳細は裏面へ

今枝さんは現在クラウドファンディングで寄付を募っています。QRコードから詳細をご覧ください。インターネットでの支援方法が分からない場合は下記連絡先にご連絡ください。
問い合わせ先: ☎0565-77-8482 (担当: 今枝 平日9時～17時)



学び・楽しむ・つながる時間

おいでかるん 第1回 「認知症を知る講座」

つくラッセル3階に研究室『高齢化学未来研究センター』をかまえる、太田光明さんによる認知症を知る講座を行い、10名の参加がありました。唾液検査による認知症検査(結果は後日)や、認知症を予防するための運動の仕方、栄養の取り方のアドバイスがありました。

細かなデータをもちいて、詳しく説明していただきました。

参加者からの声

フレイルという概念が新たな知識となりました。検査の結果も楽しみです。



第3回「あさぶろにきく 今どきの大学生・若者のリアル」

旭で話題? 小渡の和菓子屋さん(松栄軒)の孫が旭地区に貢献したいと立ち上げた「あさぶろ」。あさぶろの活動にいたった経緯から、最近の大学生や若者のリアルをヒアリングします。聞きたいこと、話したいことがあれば、事前に質問もできます!



【日時】3月8日(火) 10時から11時30分
【場所】カフェ校長室
【定員】10名 【参加費】500円
【講師】上田光太郎さん(代表 名古屋市立大学) 松井優さん(旭出身 京都大学)

第2回 「運転上手が事故を起こす?」

運転が上手な人は事故を起こさない? その実際は? 誰でもできる、事故を起こさないためにすることは? テレビにも出演、交通安全教材も作る交通心理学者による講座です。



【日時】2月28日(月) 13時から14時30分
【場所】カフェ校長室
【定員】10名 【参加費】500円
【講師】島崎敦さん(名古屋大学未来社会創造機構 特任准教授)



小型ソーラー・カーポートお披露目会開催

土砂災害や景観破壊の観点から、大規模な太陽光発電へのリスクを考えられる中、小さくても身近で使える自給消費型の再生可能エネルギーとして、つくラッセルに導入し1月28日にお披露目会を開催しました。合計で11kWの出力の太陽光発電を備え、ほぼ全量を施設で使用しています。非常時にも独立して使用できる仕組みを搭載しています。



お問い合わせ先

つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町堂山432番地3
TEL 0565-77-2722 (代表) 0565-77-7648 (戸田新聞店)
FAX 050-3488-9128 info@tukurassell.life

ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。

OPEN

オフィス 平日9:00～
カフェ 平日9:30～

就労継続支援B型 「よりみち」

起業支援 森林資源活用 小仕事づくり

起点をつくりだす みんなのやりたいを叶える つどう・はたらく・つくる拠点

つくラッセル News

2022年
5月号



『つくラッセル』は、「あのじいちゃんは、ようつくらっせるなあ」と、旭の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色んな想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々是好日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。



お仕事やれる～や!

スキママッチング 始動!

地域を支える会社・事業者とはたらかきたい人をつなげます。

地域の会社・事業者さんの求人情報を掲載します。登録・掲載は無料です。ちょっとしたお仕事から、定期的なパートさん、夏休み期間の学生アルバイトまで、はたらかきたい人に情報をお届けします。現在、限定 20 社無料で、取材と写真撮影にうかがい掲載します。ぜひお声がけください。

= 求人掲載例 =



2022年5月25日

農事組合法人つくばの里 (仕事情報)

| |
|-------|
| 求人情報 |
| 職種・業種 |
| 勤務地 |
| 就業形態 |
| 勤務時間 |
| 応募資格 |
| 給与 |
| その他 |

= 取材掲載例 =



2022年5月25日

農事組合法人つくばの里 (取材掲載)



稲刈り・モミ運搬ってまさに収穫の喜びを体験できてるって感じてすけど、..、大変ですよね?

イヤイヤ、決して大変ではありません(キッパリ)。モミ1袋は15kg、袋とも機械を使いますから重さでイヤになるなんてことは絶対にありませんし、作業方法も工夫してきていますからね。むしろ誰でも楽しめます。のんびりした自然の中でみんなと一緒にワイワイとやる作業だから。



ホームページはこちら



はたらかきたい方は裏面をご覧ください→→→

地域のみなさんへ

お仕事情報が LINE に届きます

「子どもが学校に行っている間に働けないかな」
「地元でちょっとした仕事ないかしら」
「夏休みだけなら働けるんだけど、地域でないかな?」

地元でのお仕事情報を LINE にてお届けします。地元こんな企業があるんだ!という発見にもなりますよ。学生さんも夏休みだけの求人も掲載します。短期～長期まであなたのスキマ時間に働ける情報をお届け予定です。

= LINE の例 =

スキママッチング～お仕事やれる～や! ←



Newお仕事情報!
てくてく農園さんよりお仕事情報を頂きました。
ご興味のある方は、直接事業者までご連絡ください。

LINE 友達登録はこちら



友達特典! 100名様限定



コレカラフーズ
こだわりカップ
アイス
プレゼント中!!

お問い合わせ

つくラッセル スキママッチング事業部 担当: 戸田友介、戸田育代、大山侑希、水野寿子



0565-77-2722



sukimatching@tukurassell.life



https://tukurassell.life/sukimatching/

本事業は、豊田市旭支所、地域課題解決事業「あさひ小仕事バンク事業」および、つくラッセルの CSR 事業として、移住定住を通した持続可能な地域づくりを目的に、協働運営しています。

夫婦ともどもよろしくお祈りします!

こんにちは。榊野町出身の水野寿子です。

現在は東京と榊野町の2拠点生活ですが、ライターとしてスキママッチングに関わらせてもらうことになりました。実家のあるこの地域の取材ができるのはとても楽しみです。インタビューの際はよろしくお祈りします!



たくや
水野巧也さん
ひさこ
寿子さん (旧姓: 藤谷)

= プロフィール =

水野巧也 (1972 年生まれ)
出身: 広島県呉市生まれ
東京都杉並区育ち
趣味: 山の中でソロキャンプをすること
仕事: インテリア関係の PR 広告デザイン



こんにちは。水野巧也です。現在は、父(藤谷常壽さん)にチェーンソーや田植え機などの使い方をひとつひとつ教えてもらいながら、田畑や山仕事を一緒にやっています。農ライフにも参加して伊熊町の畑で学んでいます。仕事にできたデザインや写真撮影の技術も、地域で何かのお役に立てたらと思っています。

= 経緯 =

榊野に何度か訪れる中で豊かな自然、鮎など新鮮な食べ物の美味しさ、人のあたたかいたされて、いずれは義父母のそばに引っ越して生活や田畑を手伝いたいと考えるようになりリモートワークが可能になったのをきっかけに、2022年1月に都内から榊野町へ転居し巧也さんにはお仕事紹介のための写真撮影をしていただきます。どうぞよろしくお祈り(取材)

お問い合わせ先

つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町堂山 432 番地 3
TEL 0565-77-2722 (代表) 0565-77-7648 (戸田新聞店)
FAX 050-3488-9128 info@tukurassell.life

OPEN

オフィス 平日 9:00 ~
カフェ 平日 9:30 ~

ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。

つくラッセル NEWS 発行責任者 つくラッセル

お仕事やれる～や スキママッチング

地域の仕事紹介 UIターン人材



『つくラッセル』は、「あのじいちゃんは、ようつくらっせるなあ」と、旭の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色々な想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々是好日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。

地元の食材で持続可能なアイスミネアサヒのアイス販売開始!

去年沢山の人に助けて貰ったお蔭で今年も続けていけているので、真っ直ぐな気持ちでアイス作ってあげたいと思っています。



コレカラフーズ

3階の元理科室で氷菓・アイスクリーム製造をされているコレカラフーズの水澤孝司さん。昨年のつくラッセル News で紹介してから1年が経ちました。その際、今後挑戦したことで紹介した、お米のアイスがついに完成いたしました! 1年前と変わらぬ想いで真摯に向き合っているアイスづくりについてお聞きしました。

コレカラフーズをはじめた当初から「糖分を入れないアイス」をつくりたいと思っていました。この地域で持続可能な食材、この土地で育てられているものは何なのか。地域の方に田んぼの維持管理をお願いされたのもきっかけになり、ミネアサヒでやってみよう! となりました。田んぼは初心者なので、559さんに委託管理していただき、教えていただいています。

ミネアサヒは余平町の559さん、麴は豊田市の老舗糖店のヤマキ糖店さんをお願いしました。プロの技の掛け合わせを堪能いただければと思っています。

材料はミネアサヒと種麴だけ。濃厚な甘酒を作るイメージです。精米から様々な工程を経て2日かけてできています。甘いけど麴臭さと雑味を消すのに1年ぐらい試作を繰り返しました。プレーンができたので、プレーンにレモン、抹茶、桑茶などを入れて展開していきたいと思っています。現在プレーンにチョコレートを加え、カカオニブをちらした乳製品の入っていないチョコレートアイスを店舗限定で販売中です!

ミネアサヒと種麴のみで出来た
(豊田市産産産)

旭コッキーアイス

乳製品・卵・砂糖不使用

内容量: 90ml
プレーン ¥350+税
チョコレート ¥450+税



去年も話しましたが、仕事を家族でやりたいという夢があります。子どもたちが大きくなった時にやりたい仕事がやれるように。アイスを売るというだけでも、お米をつかったり、パッケージのデザイン、営業販売をしたり業務は多岐にわたります。その為にも自分がアイスという出口をしっかりつくりたいと思っています。

【ギフトセット】
直接お声がけいただくか、
オンラインで購入できます。



【取り扱い店舗】

| | | |
|-----|--------|-----------|
| 豊田市 | つくラッセル | どんぐりの里稲武 |
| | 寿楽荘 | 足助パレット |
| | 三州足助屋敷 | 空飛ぶ羊 KURA |

5/28に東萩平自転車広場で開催された、自転車交通安全教室でコレカラフーズのアイスのふるまいがありました! 子どもたちは大喜び!



学習支援の自習会のご案内

先月号でお伝えしました、島崎町出身の鈴木雄也さんが学習支援の自習会を開催します。鈴木さんについては先月号をご覧ください。



日程: 7/25(月)、8/1(月)、8/17(水)、8/30(火)の4日間
 時間: 13:00~17:00
 会場: つくラッセル1階カフェ校長室
 対象: 中学生(小学生はメールにてご相談ください)
 金額: 10,000円(全日程4日間)
 問い合わせ・お申込み: yuya.suzuki.yt@gmail.com (担当: 鈴木)
 ※必ず、事前申し込みください。メールにて個別対応いたします。

家では勉強がはかどらない人、みんなで一緒にやりたい人 etc. 鈴木お兄さんに質問もできるよ!



つくラッセルは冷房完備しています!

今年も暑いですね。つくラッセルでは冷房を完備していますので、小学生・中学生・高校生・大学生の皆さんは勉強や読書などに部屋を解放しています。部屋を利用したい場合は事務所まで声をかけてください。

【お詫び】
6月号で名前のルビを間違えてしまいました。申し訳ありません。正しくは「なりあき」さんです!

コラムははじめます!

6月号でご紹介しました、スタッフの山田尚晃(なりあき)さんによるコラムの掲載を始めます! 次回号をお楽しみに!

お問い合わせ先

つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町堂山432番地3
 TEL 0565-77-2722 (代表) 0565-77-7648 (戸田新聞店)
 FAX 050-3488-9128 info@tukurassell.life

OPEN
 オフィス 平日 9:00~17:00
 カフェ 平日 9:30~16:00

ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。

つくラッセル NEWS 発行責任者 つくラッセル推進コンソーシアム代表 戸田友介

コレカラフーズ

農産物加工品 起業支援 1ターン人材



『つくラッセル』は、「あのじいちゃんは、ようつくらっせるなあ」と、旭の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色んな想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々是好日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。

学びあふれる場になること

当たり前にならぬ、談笑し、飯を食べ、年代をこえて交流しあうことで、お互いにお互いを知って、たくさんの学びがあふれていた地域。中と外を意識しながらも、受け入れ、受け渡してきた地域。社会情勢の中で、一旦停滞している時期を乗り越えて、次に向かって日常的にお互いに交流しあい、学びがあふれる地域に少しずつ戻っていければと思っています。

若者の知恵と行動に期待!

つくラッセルでは毎年、2~3人の大学生が卒論・修論作成のために訪れます。今年定期的に訪れてくれている2人を紹介します。

勝山奈央さん (21) 大阪公立大学 生活科学部 居住環境学科在学中
江南市出身、あさぶる上田くんの高校の同級生。上田くんの活動を知り、卒業設計のため旭地区に月に1回程度訪れる。

卒業設計は実際に存在する敷地に対して、こういう建設があったらいいのでは?という設計をします。大学が大阪にあるので、はじめは大阪で探していたのですが、上田くんの活動を見て、実際に地域の人と関わりながら設計できそう!と思い旭に決めました。模本町のこらっせるや杉本町のしきしまの家、他に小渡の3箇所設計したいと思っています。旭に来るたびに様々な方を紹介していただき、繋がる面白さを実感しています!

太田匡哉さん (24) 名古屋大学大学院 環境学研究科 都市環境学専攻 在学中
みよし市在住。つくラッセルワーキングスペースを活用し、修士論文作成のため旭に週2~3日ほど通っている。

大学で廃校利活用の研究をしており、つくラッセルについて修士論文を書くため、通っています! 田舎には建物の空間資源が少ないと思っていて、廃校となった学校が活用されないのは勿体ないと感じています。愛知県内の廃校をいくつか巡り、つくラッセルのように多様な人が入り交じり、関わりあってきている空間は珍しいと感じました。これまでの型にはまらない、建築計画を考え、論文にしていきたいと思います。

修士論文作成のため、ご協力いただきたいことがあります。つくラッセルのこの場所が気に入っている、逆にこの場所はこうなったらいいのになという意見を聞かせていただきたいです!ご協力をお願いします。



日々の学び以外につくラッセルではこの半年間の間にも色々な学びの場としてひらかれてきました。



早稲田大学 WISH 寮研修合宿



足助高校観光ビジネス類型研修



山っこくらぶ

他にも

- コレカラフーズ アイスびらき
- 森の健康診断研修会
- ミュージックケア
- つくラッセル JazzDay
- パシフィックドローンスクール
- ドローンチームでしこ体験会
- 愛知学泉大学ボランティア活動
- 軽トラステージ改造チーム
- TASK チーム合宿
- 三河の山里コミュニティパワー 関西大学学生インターン
- ソーシャルイノベーター養成講座演習
- 拳母、末野原、美里地域会議視察
- あさぶる合宿
- 夏休み学習支援自習室
- 暮らしの自給力を高める雑草講座
- 夢みる小学校自主上映会

など

さらに

とよばスクール講師、若者によるまちづくり提案事業「WAKATTE」、ミライの職業訓練校、人生100年社会デザイン財団、農村RMO推進研究会、エコフルタウン、旭高原元気村、などさまざまな場所で取り組みの紹介や体験実施をする中で、つながりを広めています。

暮らしの自給力を高める 雑草博士の前田純さんと! 雑草のお話聞いてみよう、雑草カレーを作ろう



9月10日にこらっせるにて、「雑草の話聞いて、雑草カレーを作ろう」が行われました。子どもからお年寄りまで地域の方からまちなかの方まで26名にご参加いただきました。

雑草博士 前田純さんから、こらっせる周辺に生えている雑草の効能を教えてください、これまで厄介者でしかないと考えてきた雑草の見方がとても変わりました。

その後、参加者の方の希望に合わせて雑草を選び、ミキサーにてペースト状にしたものを野菜を煮込んだだけの鍋の中へ。あとはココナッツミルクと塩で味を調べて完成! 講座前は本当に食べられるのだろうかど半信半疑でしたが、スープカレーのような感じでとても美味しく頂きました! 次回は冬の雑草を冬ならではの料理で食べる講座を予定しています。



お問い合わせ先

つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町山432番地3
TEL 0565-77-2722 (代表) 0565-77-7648 (戸田新聞店)
FAX 050-3488-9128 info@tukurassell.life

OPEN

オフィス 平日 9:00 ~ 17:00
カフェ 平日 9:30 ~ 16:00

ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。

つくラッセル NEWS 発行責任者 つくラッセル推進コンソーシアム代表 戸田友介

大学生連携 学びの地域実装 にむけて



『つくラッセル』は、「あのじいちゃんは、ようつくらっせるなあ」と、祖の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色んな想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々是好日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。

足助高校 × つくラッセル 地域実践を学ぶツアー

9月9日(金)愛知県立足助高等学校2・3年生の観光ビジネス類型の生徒40名が、中山間地の実践者が地域のどんな課題を見出し、それに向き合い、実際にどのような活動で解決してきたのか、現場を訪ねて話を聞くことで課題研究に役立てることを目的につくラッセルを訪れました。戸田さんから「暮らしのなかで人が育ち合い学び合う つくラッセルのめざす地域とは」をテーマに講話しました。学生からは「特に『どんな施設よりも、誰とするか』という言葉で、誰とどんなことをするのかを最も重要視し、事業を行う際は『自分たちで作る・お互いをよく知る・共に働き・感じて・関わる』ことが大事なんだと学んだ」との感想がありました。その後鈴木辰吉さんから「自給家族の取り組みについて」講話いただきました。



あさぶろ代表
上田光太郎さん



10月7日(金)には同高校の1年生44名がつくラッセルを訪れました。戸田さんの話の後、現在大学生で学生達のちょっと先輩である、あさぶろ代表の上田光太郎さんから名古屋と旭での2拠点生活の話や、就職しないという選択をし、多業を实践していく話などをされました。学年主任の飯田先生は「まだ1年生なのでピンとこないかもしれないが、この中の半分は高校卒業後に就職という選択をします。その時に、今日の話が一つの選択としてあるということをお願いしてもらえたら。」と話していらっしゃいました。

僕の高校生時代を振り返ってみると、田舎で暮らす、二拠点、個人事業主、起業どころか、企業に就職するというところに関してまったく知らなかったです。なので単純にいろんな生き方を知れるっていう機会があるのがすごく羨ましいなと思ってます。彼らがどこかのタイミングで「そういやこんな生き方もあったわ」みたいに思ってくれば嬉しいなと思います。自分自身も講演する機会自体すごく貴重だなと思っていましたし、準備をする中で色々気付かされる点があったので、今後の活動に活かしたいなと思いました。めっちゃ緊張しました。

午後からは小原のスズキ広務店・三河里旅と多彩に活動されている鈴木孝典さんから、自分史と地域課題解決として観光業を始めた講話、また足助北小田町に今年5月に開所された就労支援事業所「よりみち」を運営されている特定非営利活動法人みちの今枝美恵子さんから活動についての講話がありました。



とよたデカスプロジェクト 「QUENELLE 感覚つながる 小型EV」

音楽家とエンジニアによる協働プロジェクトで製作されたEV「くねる」をベースに、みんなで自由に想像をふくらませながら、走行音をつくって録音して、実際に走らせよう!



【日 時】2022年11月20日(日) (雨天の場合はワークショップのみの開催になります)
ワークショップ 10:00~12:00 (要予約)

【場 所】つくラッセル屋外
【参加費】無料
【対象年齢】小学生以上~大人

【試乗会も行います!】13:30~16:00
試乗会はご予約不要です!
普通自動車免許証をお持ちください。

【主催・お問い合わせ】
MUSIFY 担当:野口 TEL:050-3627-7788 MAIL:info@musify.jp
【イベントの詳細】[【ワークショップ参加受付】](#)



学習支援自習会

島崎町出身の鈴木雄也さんが夏休み期間中に小中学生向けの学習支援の自習会を開催しました。中学3年生が8名、小学5年生が4名参加しました。



コロナもあり外出機会が少なくなりがちな長期休暇ですが、家でも勉強するのも集中できない、そんな子が気軽に集まって勉強する機会を作ることができました。自習中心のスタイルですが、勉強場所と時間を一緒に決めて確保するという事は、お互いに教えあったり、時に助けを求めるということができるのがよかったと思います!

高校 × 地域 学びの地域実装 にむけて



『つくラッセル』は、「あのじいちゃん、ようつくらさせるなあ」と、旭の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色んな想いをカタチにしながらか、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々是好日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。

山を活かす、地域を守る、外の力をかりる 旭木の駅プロジェクト2022拡大例会

11月23日に旭木の駅プロジェクト拡大例会「軽トラとチェーンソーで晩酌を」で10年～山を活かす、地域を守る、外の力をかりる～が行われ、50名以上の参加がありました。実行委員長の高山治朗さんにお話をうかがいました。



「旭木の駅プロジェクトを10年以上続け、先日豊田市長からお墨付をいただきました。しかし、今いるメンバーだけの継続だけではいつか限界が来ます。今回の出陣式では、『山を活かす、地域を守る、外の力をかりる』をテーマに、実際に関係人口を受入れ活動されている方々、旭地区の山に入って間伐作業されている各会の活動報告など、表立って表彰はされないけれど、大変な地域貢献をされている方々の話を聞くことができました。この会をつくラッセルで行えたことも大変嬉しく思っています。」

【事例発表】



まず「限界集落における関係人口のかかわり栃本町桜の森づくり」について、元旭支所長でもある天野正直さんより講演いただきました。伐採整備後、元に戻らないようにはじめた桜の植樹祭。関係人口を受入れたことで、さらに繋がりが広がり、おいでんトレイル足助栃本などの事例をお話いただきました。関係人口をお客様扱いせず、地元にもメリットが得られるようお互いwin-winの関係を保つことなど関係人口との円満な関係づくりについても話されました。

続いて、おいでん・さんそんセンターの坂部さんより「旭木の駅プロジェクト企業協働事例」について発表いただきました。中部電力パワーグリッド株式会社や株式会社ジェイテクトとの取り組みについて話されました。企業との新しい取り組みがはじまっています。詳しくは、旭木の駅プロジェクト通信 2022年9月号でも紹介されています。



旭地区には森林ボランティアが7団体、山に入り活動しています。今回は惣田町で活動されている七森会さん、押井町で活動されている山笑会（さんしょうかい）さん、太田町で活動されている陽だまり会さんが日々の活動報告をされました。



七森会(惣田町)・山笑会(押井町)・陽だまり会(太田町)



▲デュオルリアンによるミニコンサート



▲雨天のため安全祈願は室内にて

出していただいた薪材の薪割り頑張ります！
薪材搬入の際はスタッフにお声がけください。



暮らしの自給力を高める 雑草博士の前田純さんと！ 雑草のお話聞いてみよう、雑草肉団子入り芋煮会

草刈りのやっかいもの、庭の雑草たちが…実は宝の山だった！前田さんは長久手を拠点に活動されている雑草博士。この雑草はなんですか？と聞けば、溢れんばかりの知恵と経験を惜しみなくシェアしてくれます。そのお話に目からウロコ！すぐそばにある身近な雑草たちの、知られざる魅力たっぷりの世界をぜひ一緒に楽しみましょう♪今回は、身近な雑草を肉団子に練りこんで、季節のお野菜と芋煮をつくりまします。旭の絶品ミネアサヒを薪で炊いて一緒に味わいます。



日時 : 2022年12月10日(土) 10:00~13:00
会場 : こらっせる(豊田市榑本町本折10番地)
参加費 : 500円(幼児以上)当日支払い
定員 : 20名程度
問い合わせ・お申込み : つくラッセルスタッフまで
旭コミュニティデザイン・ラボ「むすびめ旭」・里モビニティ・つくラッセル共催



雑草料理研究家
前田純

合同会社つむぎて共同代表
雑草の力強い生命力に魅了されて、雑草の活用講座、商品化、耕作放棄地の活用等をされています。

旭木の駅プロジェクト学びの 地域実装

つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町堂山432番地3
TEL 0565-77-2722(代表) 0565-77-7648(戸田新聞店)
FAX 050-3488-9128 info@tukurassell.life

OPEN
オフィス 平日 9:00~17:00
カフェ 平日 9:30~16:00

ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。

つくラッセル NEWS 発行責任者 つくラッセル推進コンソーシアム代表 戸田友介



『つくラッセル』は、「あのじいちゃんは、ようつくらっせるなあ」と、旭の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色んな想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々是好日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。

訪問看護ステーション「かえるの家」1周年

つくラッセル3階に訪問看護ステーションかえるの家が開設してから1月で1年が経ちます。現在旭・小原・稲武・藤岡・足助地区を訪問されており、約18名の利用者さんがいらっやいます。運営する後藤真也さん(29)・亜利沙さん(28)ご夫婦、またお二人の専門学校の同期であり、スタッフの市川志穂さん(28)にお話を伺いました。



訪問着が新しくなりました♪
刺繍は亜利沙さんのデザインです!



市川志穂さん 後藤真也さん 後藤亜利沙さん

「1月で1周年を無事迎えることができました。24時間365日営業のこともあり、地域の活動にあまり参加できていないことが心苦しいですが、山間地域での医療体制を整えるためにあと1~2年は集中して頑張ろうと思っています。伊熊町に住みながらも、SNSを活用し頻繁に情報交換を行っています。特にリハビリに関してはリハビリ専門のスタッフがいないので、訪問看護で使えるリハビリの仕方など知識を得ています。」

「まず利用者さんが来てくれてホッとしています。利用者さんと関わることで、山間地域の医療が行き届いていないことを実感しています。受診ができない、今まで通り服薬ができないなどのジレンマ抱えつつも生活をされています。」

また山間地域での生活環境の変化をご家族では気がつきにくいこともあり、訪問看護が入ることで予防に繋がります。『家で暮らしたい』という利用者さんの願いにこれからも向き合っていきます。」

「1年間働いて、『家にかえる』という選択肢を提供できたのはよかったです。実際に、在宅での現状課題もみえ、課題は山ほどありますが、これからも選択肢の1つに訪問看護があるということで安心していただければと思います。」

裏面につづく▶▶▶

看護師の巻き爪専門サロン



看護師の巻き爪専門サロンは現在自宅(伊熊町)にて行っています。訪問看護でも施術可能です。これまでに20~50代の若い方も利用されています。爪のトラブルで歩けなくなるケースも多く、爪の健康はお身体全体の健康に繋がります。病院で手術する前に一度ご相談ください。

12月末まで初回2,000円オフキャンペーン中!!

地域の暮らしの保健室

毎週火曜の午前中に地域の暮らしの保健室というお悩み相談会を行っています。本当に家で過ごせるのか、施設で暮らすとどうなのか、今後の治療方法や透析をつくるべきかなど看護師に相談してみたいことがあればご活用ください。※予約制になります。ご希望の方はつくラッセルスタッフにお声がけください。

今後について

訪問看護だけでは山間地域の医療を整えるのは難しいと思っています。そのためにも今後やりたいことがいくつかあります。例えば、看護師が付き添う受診送迎。看護師が付きそうことで、重症度が高い方にも利用していただけます。他にも山間地域はお一人暮らしの方が多く、土日祝での食事の準備や家事代行をするヘルパー事業も整えたいです。

また現在はひとりの利用者さんを1事業所でみることが多いですが、複数のステーションが関わり合い、連携し合いながらお互い学びあえる関係を築いていくことも必要だと感じています。実際に訪問することで山間地域の医療管理は一步遅れていると実感しています。医療を整えていくためにも共に働くスタッフを募集しています。

スタッフ募集のご案内はこちら!



年末の挨拶



2022年も残りわずかとなりました。自然とともに、地域とともに、かかわるすべての人たちとともに、どう暮らしに向き合っていくか、模索しながらの毎日です。おかげさまで、たくさんのご縁に支えられて、今があります。これまでのこと、これからのことを最近noteというサイトで不定期更新になりますが、よければ以下のQRコードからのぞればと思います。これからも柔軟に富んだありかたをたくさんの方と共有しながら、できることをできる限り取り組んでいきたいと思っています。2023年もよろしく願います。

株式会社 M-easy 代表取締役 戸田友介

【年末年始のお休み】12月29日(木)~1月4日(水)までお休みさせ

つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町堂山432番地3
TEL 0565-77-2722 (代表) 0565-77-7648 (戸田新聞店)
FAX 050-3488-9128 info@tukurassell.life

OPEN

オフィス 平日 9:00~17:00
カフェ 平日 9:30~17:00

ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。

つくラッセル NEWS 発行責任者 つくラッセル

訪問看護・巻き爪・ご相談など連絡先はこちら!



きく結び 検索
TEL 050-8882-4212
豊田県豊田市旭八幡町堂山432-3 つくラッセル3階4号室

訪問看護ステーション
かえるの家

看護師の
巻き爪専門店

訪問看護ステーション かえるの家

孫ターン人材 若者起業支援



『つくラッセル』は、「あのじいちゃんは、ようつくらっせるなあ」と、旭の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色んな想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々是好日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。

先人が植えてきた木を大切に 木の持ち味を生かした木工製品を作りたい! ～2年目の活動を振り返る～

つくラッセルの木工室を活動拠点としている「間伐材木工研究会」は間もなく活動3年目を迎えました。間伐ボランティアとして森に入り作業を行う中で、間伐材の多くが木材として十分使えるにも関わらず、山に放置されてきました。活用されていない様子を目の当たりにし、「先人が子や孫のために大変な思いをして植えてきた木をもっと木工製品として永く大事に使ってあげられないか」との想いから、研究会を立ち上げられました。



間伐材木工研究会 桑原さん 杉田さん(代表) 遊佐さん

活動2年目の2022年度は、藤岡交流館での木工教室の開催(3回)と個別の依頼に基づく製品づくりを行ってきました。今後はつくラッセルでの木工教室や木工製品の販売も視野に活動を充実していく予定です。



藤岡交流館での木工教室の様子。6月は時計、10月は椅子、1月に道具箱を製作しました。

個人の依頼の製品の
一部をご紹介します!
左の写真から
引き出し収納、
本棚、
収納付きレンジ台、
掘りこたつの足置き。

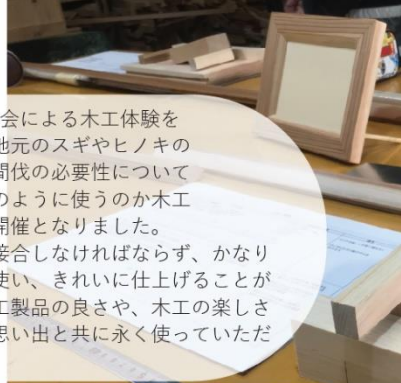


2月17日(金)に敷島小学校6年生の木工体験実施の様子は裏面をチェック!▶▶▶

敷島小学校6年生がつくラッセルで木工体験

2月17日(金)に敷島小学校6年生7名の間伐材木工研究会による木工体験をつくラッセル木工室で実施しました。敷島小学校では毎年、地元のスギやヒノキの森の木の混み具合などを調べる「森の健康診断」を実施し、間伐の必要性について学んでいます。学習を終えた生徒達から「間伐された木をどのように使うのか木工についても勉強してみたい」との声があり、今回のイベント開催となりました。

今回製作したフォトフレームは、四隅を直角にすぎ間なく接合しなければならず、かなり難しいテーマでしたが、ノコギリや丸ノコと切断用の治具を使い、きれいに仕上げることができました。代表の杉田さんは「木の温もりが感じられる木工製品の良さや、木工の楽しさを学んでいただけたのではないかと思います。小学校時代の思い出と共に永く使っていただけると嬉しいです」とおっしゃっていました。



若者活動発表会 ～私たち地域で学ばせてもらいました!～

3/19
日

2022年度、旭・足助地区に通い、地域も皆さんとかわりながら学ばせてもらった活動や研究を発表します。関りがあったかたも、はじめてのかたも、ぜひ一緒に地域でつくる学びや、若者とも関わりについて考えるきっかけにしましょう。

<発表者>

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻 太田匡哉
名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻 植山光樹
大阪市立大学生活科学部居住環境学科 勝山奈央
名古屋市立大学人文社会学部心理教育学科 上田光太郎



日程: 3/19(日) 13:00～17:00
場所: 体育館
備考: 13:00～13:30にデュオルリアンによるオープニングアクトの演奏会があります。
懇親会: 終了後、希望者のみ懇親会を予定しています。
(懇親会は会費制、会場は「こらっせる」、時間は18:00～20:00)
対象: 中高生以上全年齢対象です。お気軽にご参加ください。
申込: QRコードを読み取り、もしくはつくラッセルスタッフまでお声がけください。予約がなくてもご参加いただけます。
人数把握のため、予約いただくと幸いです。
主催: M-easy/ 三河の山郷コミュニティパワー



つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町堂山432番地3
TEL 0565-77-2722 (代表) 0565-77-7648 (戸田新聞店)
FAX 050-3488-9128 info@tukurassell.life

OPEN
オフィス 平日 9:00～17:00
カフェ 平日 9:30～16:00

ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。

つくラッセル NEWS 発行責任者 つくラッセル推進コンソーシアム代表 戸田

間伐材木工研究会 学びと森林活用

起点をつくりだす みんなのやりたいを叶える つどう・はたらく・つくる拠点

つくラッセル News

2023年
3月号



『つくラッセル』は、「あのじいちゃん、ようつくらっせるなあ」と、旭の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色んな想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々是好日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。

豆っこくらぶ 2023

2022年度の豆っこくらぶも多くの方にご参加いただきました。今年は天気にも恵まれ、みんなで種まきを行うことができ、いっぱい収穫できました。



味噌づくりは大豆を蒸して挑戦しました！
つくラッセルスタッフによる手づくりのせいろ♪
どんな味噌になるか楽しみです。



アイス biraki 4/8 ± 10:00~

麗らかな春の陽気に誘われて鳥達は囁き木々の芽は輝くであろう4月8日土曜日にアイス biraki と題した細やかなイベントを開催いたします。

私事ではありますが、今季で3年目をむかえるアイスクリーム、氷菓製造所コレカラフーズは今年度よりコレカラフーズ合同会社として新しくスタートします。日頃から応援下さる皆様様に感謝をお伝えする場として、子ども大人も地元民も稀人も交わる場として来場して下さる皆様楽しんで頂ける場になればと思ひながらスタッフ一同アイス biraki 開催に向けて準備を進めています。

アイス biraki は入場無料で参加して頂けますが、楽しんでいただけたり、良いイベントだな、また来年も来たいなどかと思って頂けたら投げ銭、ご祝儀、協賛などを会場受付にて頂ければ次回開催に向けてスタッフ一同のモチベーションにもなりますので是非宜しくお願い致します。また今回は駐車場が築羽農村環境改善センターになり、会場のつくラッセルには駐車ができません。宜しくお願い致します。

兎にも角にも4月8日は春の訪れをつくラッセルで皆様と喜び、楽しむ一日となる事を願っております。どうぞ宜しくお願い致します。

【日 時】 4月8日土曜日 10時~

【場 所】 つくラッセル

【駐車場】 築羽農村環境改善センター

【入 場】 無料投げ銭大歓迎

【ステージ】 プルタタ、ジャイアントステップス、マウンテンマウンテンズ、マンダダ

【その他】 出店、ワークショップ多数

アイスBIRAKI vol2

★ワークショップ★
ジャイアント
ステップス

★ステージデコ★
残党クルー

★子ども商店★
ミケネコ

★出店★
とだっちおこわ店、ゴーバル、溪流荘、ごはん屋カカ
かほkabo、クラシヤ、プンプン食堂、竹々木々
旭有機農業組合、コレカラフーズ、and more!

★してんしゃ★
東萩平
自転車ひろば

★タキビ★
あさぶる

★ステージJPA★
ミニミニ
エクスベリエンズ

<主催>コレカラフーズ<協賛>m-easy,残党crew

大学生 地域との関わりの中で

3月19日、2022年度地域で学んだ学生4名の活動・研究の発表会を行い、多数の地元住民のかたにもお越しいただきました。廃校利用の研究をした太田さんは、つくラッセルにある1階の休憩スペースの存在に着目して、新たな活動がうまれるためには、余白のあるフリースペースが大切ということに気づきまとめていました。来年度から新たな道を進む中でも、つながりができた地域にこれからも通いたいと話をしてくれました。



右から順に
名古屋市立大学人文社会学部心理教育学科 上田光太郎さん
名古屋大学大学院環境学研究所都市環境学専攻 太田匡哉さん
名古屋大学大学院環境学研究所地球環境科学専攻 植山光樹さん
大阪市立大学生活科学部居住環境学科 勝山奈央さん

まめっこくらぶ 関係人口づくり 農地活用

2023年度豆っこくらぶのご案内

つくラッセルをベースに槇本町の畑で、種まきから味噌仕込みまでおこないます。毎年、小さな子どもから大人まで、地元から県内市内まで、それぞれのできるペースでご参加いただいています。全行程参加できなくても大丈夫です。みんなで一緒に汗を流しましょう！

料 金

出来上がり味噌 5kg (麴代込、体験料込)
参加料金：1口 5,500円 (税込)
塩 500g が別途必要です。 定員 40口まで
味噌は、合わせみそ・白みそ・赤みそ・
麦みそなどお好みにあわせて麴を選べます。

- 種まき 6/24 (土)
- 草取り 7/30 8/19 (日) (土)
- 枝豆の会 10/9 (月祝)
- 収穫・脱穀 11/25 (土)
- 味噌づくり 2/24 2/25 (土) (日)

お申し込み、お問い合わせは、つくラッセルまでメールまたは電話ください。

つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町堂山432番地3
TEL 0565-77-2722 (代表) 0565-77-7648 (戸田新聞店)
FAX 050-3488-9128 info@tukurassell.life

ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。

OPEN

オフィス 平日 9:00 ~ 17:00
カフェ 平日 9:30 ~ 16:00

つくラッセル NEWS 発行責任者 つくラッセル推進コンソーシアム代表 戸田友介



『つくラッセル』は、「あのじいちゃん、ようつくらっせるなあ」と、旭の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色んな想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々是好日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。

竹々木々工房5年目。着実に活動を広げる。

つくラッセルの元給食室を調理室として活動している、竹々木々工房(ちくもくこうぼう)。代表の大山侑希さんは「色々な方の協力をいただき、5年目の活動を迎えます。大好きな竹のことを毎日考えられている日々を幸せに思います。持続的な里山整備の仕組みづくりのため、今後も色々と挑戦していきます。」と話しています。



新盛産直市場さんから幼竹の買取。収穫いただけるのは本当に有難いです。今後ご協力いただける買取場所を増やしていきたいです。有間竹林愛護会さんにも変わらずご支援いただきました。



▲山から竹を伐って、その竹を使って遊ぶイベント「竹っこくらぶ」を定期開催しました♪竹炭を使った、竹飯盒 etc

▲薬膳植物油、デュカ、筍の塩煮煮を新商品として販売開始しました!



▲北小田町の里山エネルギーさんから竹炭の焼き方を習いました。

▲新盛町と北小田町で竹林整備を行いました。地域の方と一緒に活動できたのが嬉しかったです。

2023年の予定



▲わくわく事業「太田に陽だまりプロジェクト」に参加し、太田町で竹林整備に入らせてもらいます。お世話になっている地域に貢献できるように頑張ります。

▲中日新聞「ミカワsbgs」に掲載いただきました。



▲湯がいた幼竹が美味しいので、出来立てを水煮として販売していきたいと計画しています。



地域の課題に少しでも貢献できるような里山活動を続けていきます。今後ともご協力をよろしくお願ひします。



LINEで情報を受けとれる地域ではたらくを再発見!

豊田市の地域課題解決事業のひとつとして昨年3月から実施している「スキマッチング」。1年間で地域の企業を13社、求人を12件掲載しました。求人掲載するだけでなく、地域にはこんな仕事、魅力的な職場があるんだ!と再発見することで、移住促進にもつなげていきたいと思っています。

今後求人情報も増えていきますので、まだ登録されていない方はご自身に関係がなくても短期バイトや学生歓迎のバイトもありますので、お節介りに紹介していただければと思っています!ご協力よろしくお願いします。求人掲載希望の企業様もお待ちしています。



matching

へま〜、あそこの農園はこんな仕事しているの!

いい仕事があるな〜! 繋ぎ手に教えてやる

matching

関わり方は、人それぞれ

お節介りな人ばかりじゃないよ

フルタイムからスキマ時間まで自分に合った働き方ができます。

この仕事ならお迎え前まで働けるかも!

公式LINE登録数
登録目標数
200人
(令和5年2月現在)

マッチング率
なんと!
掲載数の半分
50%

働き方自由自在
パートから正社員まで
週に1回、1時間から

退地区には色々な仕事があり、求めている人材も居ります。取付企業では働いている方らさをお伝えできればと思い、記事を書いています。

短期バイトから学生を希望しているバイト、都合の良い時間でもOKの仕事、長期で働く嬉しい、資格を活かしてほしい仕事 etc. あなたの都合に合わせた働き方ができるかも!?

つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町堂山432番地3
TEL 0565-77-2722 (代表) 0565-77-7648 (戸田新聞店)
FAX 050-3488-9128 info@tukurassell.life

OPEN
オフィス 平日9:00~17:00
カフェ 平日9:30~16:00

ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。

つくラッセル NEWS 発行責任者 つくラッセル推進コンソーシアム代表 戸田友介

竹々木々 地域資源活用 1ターン人材 起業支援



『つくラッセル』は、「あのじいちゃん、ようつくらっせるなあ」と、旭の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色んな想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々是好日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。

これからも楽しく交流 マレットゴルフ!

マレットゴルフ愛好会が始まって約9年になろうとしています。今年度から会長に後藤晃孝さんが就任されました。老若男女問わず、楽しめるスポーツですね。愛好会員以外の方でも1日200円で利用できます。ご利用の方はつくラッセルスタッフまでお声がけください。



「家の外に出て、他の方と交流する機会を増やしてほしいとの声があり、今年から定例会を毎月第1水曜日にしました。皆がふれ合い、楽しみながら交流できればと思っています。」

新しく会長に就任された
後藤晃孝さん(伊熊町)



山里合唱団こだま 9周年

つくラッセルスタッフでもある、竹内支保子さん(ソプラノ歌手)と山岡恵さん(ピアノ)率いる1ターン、Uターン者を中心に構成されている山里合唱団こだま。今年で結成9周年になります。毎月第2と第4金曜日の夕方につくラッセルで練習をしています。竹内さんに想いをお聞きしました。



2014年1月に「山里合唱団こだま」は結成されました。旭に移住したM-easyの戸田友介さんと、こいけやクリエイトの西村新さんのお2人が、合唱したいので指導して欲しいと私に依頼してくれたのがきっかけでした。二つ返事でいいよーと返事をして、当時岡崎市に暮らしていた私は1時間半ほどかけて太田町の福蔵寺まで通っていました。立ち上げ当初は男声合唱団だったのが、お父ちゃん達が楽しそうに歌っている姿を見て、お母ちゃんたちも私たちも歌いたいと加わって混声合唱団に。



こだまの練習はいつも食事からスタート。御礼はどうしたらいい?と戸田さんが私に聞いてくれて、だったらご飯を食べさせてくれたらいいよと答えたのがきっかけで戸田団長の賄いご飯がスタート。

20~30人分のご飯を作ってくれ、なんだか申し訳ないとおかずを持ち寄る人が増えていき、毎回馳走の楽しく美味しい時間を過ごしています。同じ釜の飯で大人も子どももお腹いっぱいになった頃、そろそろ歌いますかと、そこからは本気モードの合唱練習。大人が真面目に合唱の練習をするすぐ横で、子どもたちは走り回ったり漫画を読んだり、自由に楽しく過ごしているのがこだまの風景でした。

当時は楽しく歌えればいいと思っていたけれど、継続は力なりで、こだまのメンバーは少しずつ実力をつけていきました。最近は練習場所をつくラッセルの校長室に移し、よく響く空間の中、美しいハーモニーを目指して割りとしつこく1音を追求する時間も取っています。

ホームの福蔵寺ご縁はもちろん、いなかとまちの文化祭や、耕Life マルシェは常連になっています。野外で合唱することが多いこだまに、もっと合唱を楽しんでもらいたくて、今年度は豊田市民クラシックコンサートにチャレンジします。豊田市民

コンサートホールは全国的に見ても素晴らしい響きのホールなので、身体から発せられる声が空間に響き渡る共鳴と、舞台と客席との一体感をぜひ感じてもらいたいと思っています。このコンサートには団員の子どもたちも数人出演する予定です。

父ちゃんから始まった合唱団が、いつのまにかファミリー合唱団になりました。まだまだ進化は続きそうです。ぜひコンサートホールまでこだまの合唱を聴きにきてください。



♪第25回豊田市民クラシックコンサート♪

会場：豊田市民コンサートホール

日時：2023年9月18日(月祝) こだまは14時50分ぐらいから

金額：全席自由 500円 (お問い合わせはつくラッセルスタッフまで)

つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町堂山432番地3
TEL 0565-77-2722 (代表) 0565-77-7648 (戸田新聞店)
FAX 050-3488-9128 info@tukurassell.life

ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。

OPEN

オフィス 平日9:00~17:00
カフェ 平日9:30~16:00

つくラッセル NEWS 発行責任者 つくラッセル推進コンソーシアム代表

マレットゴルフ
山里合唱団
集い、文化、学び



小さなやさしいコ

ミュニティの集まり




次世代の地域

雑談がミライをつくる

地域に投資して地域ではたらく時間をつくる

暮らしの自給力を高めて循環させる

子どもからお年寄りまで、つ
ながり、まざりあい、まなび
あい、かかわりあえる地域

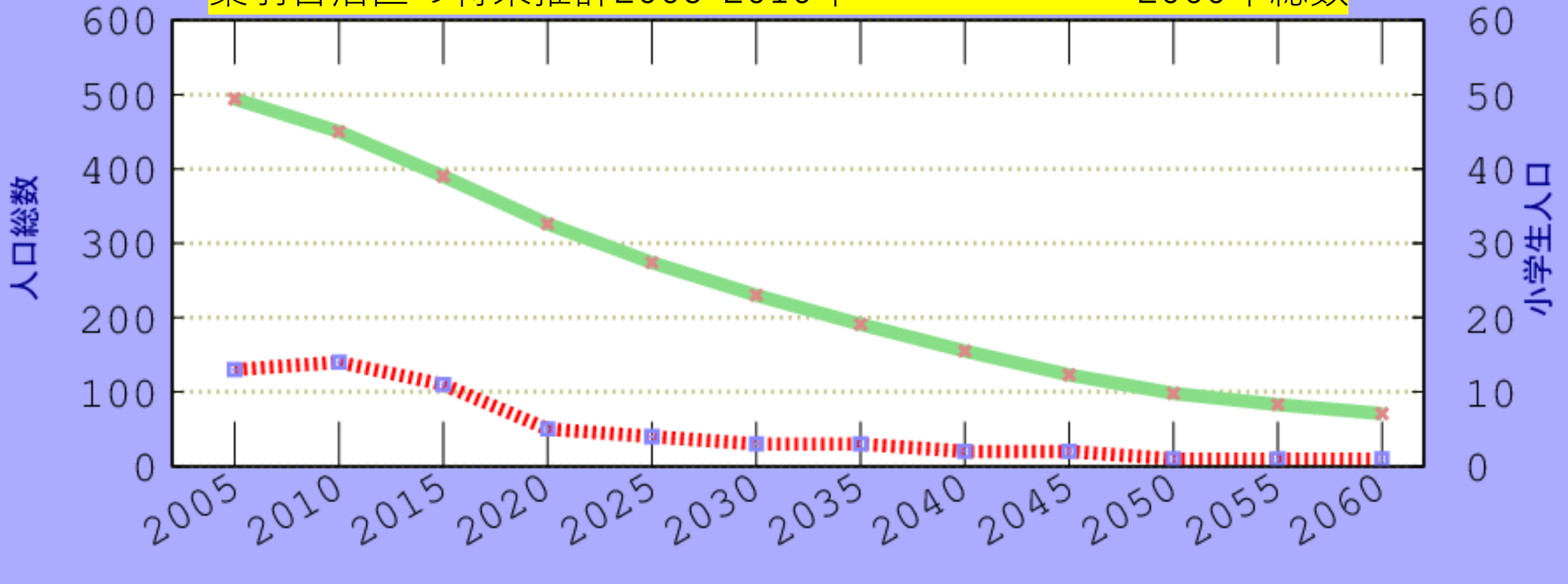


まわりはじめる小さな兆し

Population Projection of Tukuba district "2010"

筑羽自治区の将来推計2005-2010年

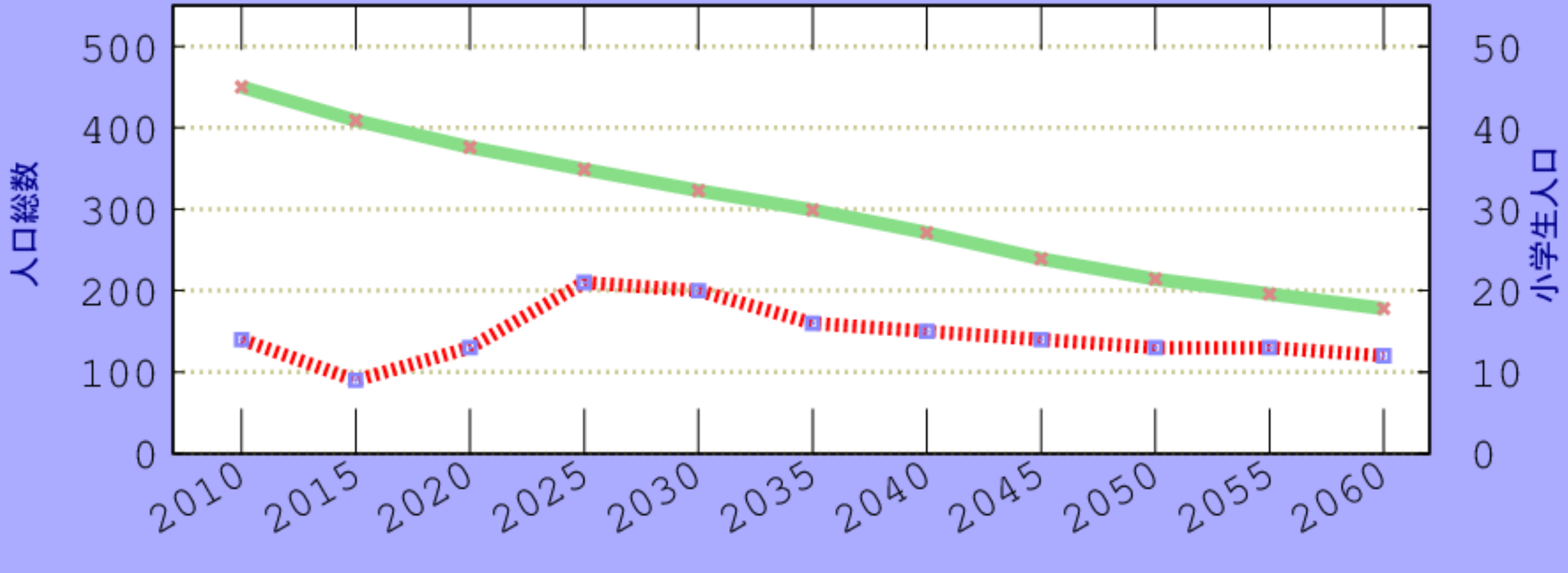
2060年総数



Population Projection of Tukuba district “2015”

筑羽自治区の将来推計2010-2015年

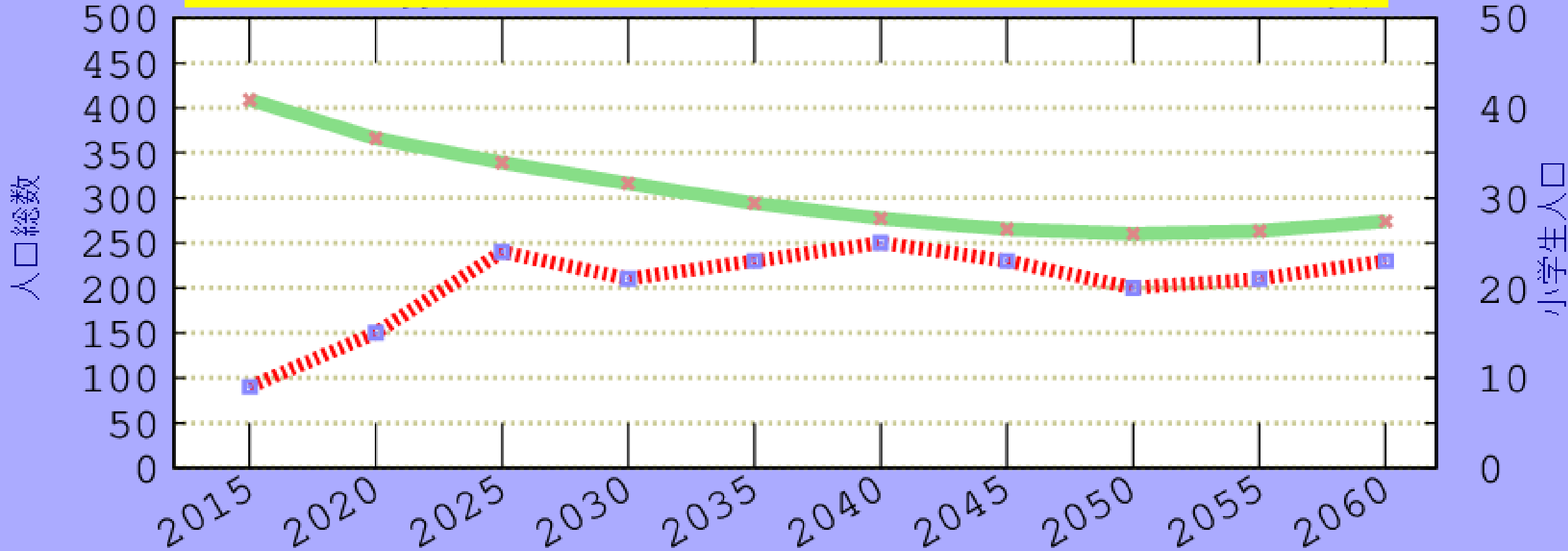
2060年総数



Population Projection of Tukuba district “2020”

築羽自治区の将来推計2015-2020年

2060年総数



旭地区子ども人口推計（10月1日時点）

